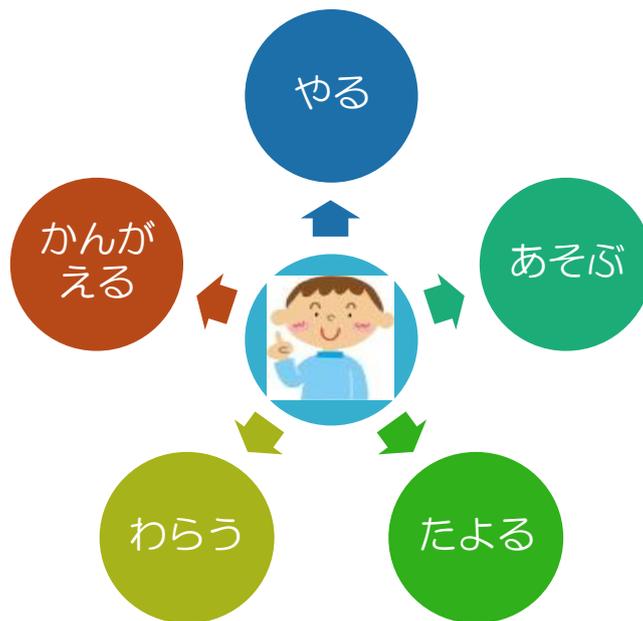


せいどうかいのクレド（行動指針）

私たちは最善の利益を第一に考え、

3つの側面から

こども主体の保育を創造していきます



守りたい育ちのエネルギー

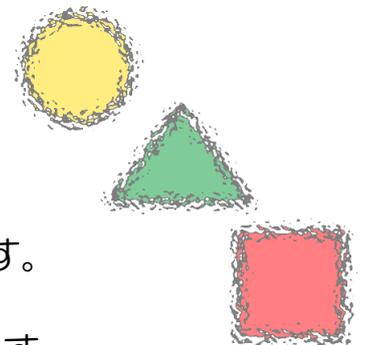
○子どものやろうとする意欲を尊重します。

○子どもの自ら選び、遊ぶ力を引き出します。

○子どもの頼る力（甘える）に応じて自立を促します。

○子どもの笑顔（多様な表現）を引き出す環境を整えます。

○子どもの考える時間を大切にします。





育みたい保育のエネルギー



△保育者も子どもと一緒に遊び、楽しめます。

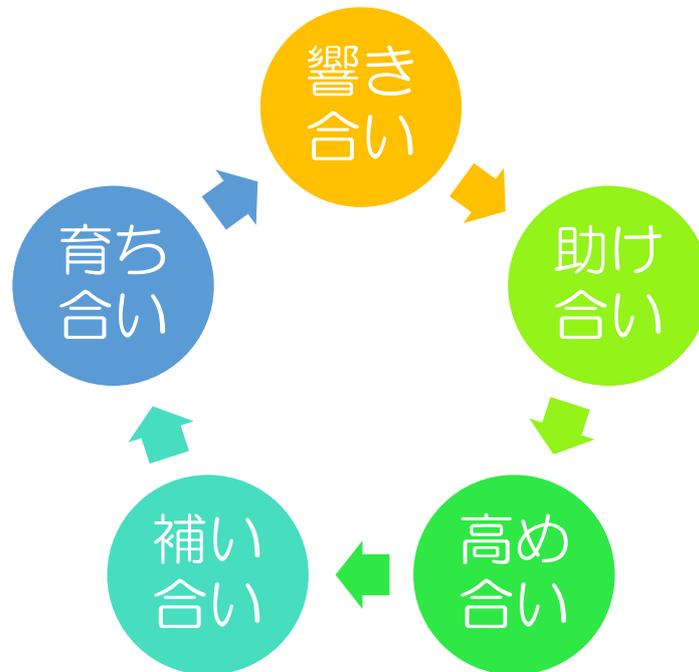
△従来の保育を守りながら、時に創造的なワクワクを創り出します。

△発達が異なる子ども同士の相互作用を最大限に引き出します。

△焦らず、じっくり、ゆったりと子どものペースに応じて支えます。

△子ども一人ひとりの頑張りを見つけ、保育者同士で喜び合います。

繋げたい人的エネルギー



□保育者同士が異なる価値観、同じ保育観を共有することで刺激し合います。

□保育者同士は、それぞれの個性を認めながらお互いに助け合います。

□お互いの長所を活かしながら、刺激を受けながら高め合います。

□お互いの短所、課題を認識し、チームワークで補い合います。

□自らを育て、相手を育て、育ち合いの相乗効果を最大限に活用します。